

GREEN LIFE

〈取扱説明書〉ホースリール用転倒防止重り G-WEIGHT GW-01

部品内容をご確認のうえ、正しく設置してください。なお、お読みになった後も取扱説明書は、大切に保管してください。

使用上の注意事項

安全のために必ずお守りください。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをした場合、使用者が傷害を負う危険が想定される、又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- △ 本製品は安定性向上を目的としたG-EVOシリーズ、G-Autoシリーズ専用転倒防止重りです。用途以外でのご使用はおやめください。
- △ 本製品は鋳鉄製で重量があります。設置や移動の際は手や足を挟まないよう十分ご注意ください。また、腰に負担をかけないよう、複数人で持ち上げるか適切な姿勢で作業してください。
- △ 本製品を取付けたホースリールを移動させる際は、必ず**本製品ごと両手で持ち上げて**移動させてください。
- △ 不安定な地面や、傾斜のある場所への設置は転倒のおそれがありますので避けてください。
- △ 路面の状態によっては、ホースを引き出す際に動く場合があります。
- △ ホースリールのねじ固定作業は確実に行ってください。緩みがあると脱落や転倒の原因になります。
- △ アジャスターは水平を保つよう均等に調整してください。偏った設置は転倒や変形の原因になります。
- △ 本製品の母材は鋳鉄製のため、屋外で使用される場合、長期間風雨にさらされることで塗装の剥がれやさび、劣化が進行するおそれがあります。その際は、裏面の「メンテナンス方法について」を参考にお手入れを行ってください。
- △ アジャスター取付け部には、出荷時に防さび油を塗布していますが、**時間の経過とともに防さび効果は薄れる場合があります**。また、使用環境によっては防さび油が流出したり乾燥したりすることがあります。**定期的に防さび油を再塗布するなど、適切な防さび処理を行ってください**。
- △ 長期間使用されない場合は、**乾燥した場所に保管し、布などで覆ってほこりや湿気を防いでください**。
- △ 少なくとも月1回は本製品の点検をおすすめします。塗装の剥がれやさびが出ていないか、ねじが緩んでいないかを確認してください。さびが小さいうちにメンテナンスを行うことにより本製品をより長くご使用いただけます。
- △ 不具合や破損が見られる場合は、直ちに使用を中止し、販売店または製造元にご相談ください。
- △ 本製品は鋳鉄製で黒塗装が施されているため、夏場や直射日光が当たる環境では表面温度が非常に高くなる場合があります。やけどの恐れがありますので、設置場所や取扱いには十分ご注意ください。

■製品仕様■

寸法：(約)幅32.5×奥行43.5×高さ4.5cm(アジャスター含む)
材質：本体……鋳鉄(フッ素カーボン塗装) 重量：6.2kg

製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
●ご不明な点がございましたら下記フリーダイヤル、グリーンライフ「お客様サービス係」までお問い合わせください。

フリーダイヤル受付窓口 **0120-717152**
受付時間▶9:00~12:00、13:00~17:00
(土・日・祭日・夜間は留守番電話になります。)

株式会社 **グリーンライフ**
本 社 新潟県三条市南四日町3-7-58
〒955-0852 TEL(0256)36-4001(代)
FAX(0256)36-4050
E-mail : niigata@greenlife-web.co.jp
URL : https://www.greenlife-web.co.jp

GW-01 00

部 品 内 容

組付けの前に必ずお読みください

- にぎり手の太い④ドライバーをご用意ください。
(電動ドライバーのご使用はおやめください。)
- 必ず手袋を着用してください。●広く平らな場所で組立ててください。
- 2人以上で作業を行ってください。
- 本製品は鋳鉄製で重量があります。設置や移動の際は手や足を挟まないよう十分ご注意ください。

2人以上で組立推奨

手袋着用

工具必要④ドライバー

電動ドライバー使用しない

部品袋は2種類入っています。

組み付けるホースリールをご確認いただき、適合する部品袋を選んで組み付けてください。

アジャスター(取付け済)

G-EVOシリーズに組付ける場合

右面を参考に組み付けてください。

タッピンねじ×8

キャップ×4

G-Autoシリーズに組付ける場合

本紙裏面を参考に組み付けてください。

ねじ×4

蝶ナット×4

G-EVO シリーズの組付け

※イラストはG-EVO Plusを使用しています。

使用する部品

タッピンねじ×8

キャップ×4

1

タッピンねじ

取付穴(8カ所)

本製品

取付穴(8カ所)

別売

ホースリール(G-EVOシリーズ)

厚手のタオル等(別売)

組付けは2人以上で行ってください。

(1)ホースリールが傷付かないよう、厚手のタオル等を下に敷いてからホースリール底面を上に向けてください。

(2)本製品をホースリール底面に載せ、ホースリールと本製品の取付穴を合わせます。タッピンねじを全ての取付穴に軽く差し込み、**(仮締め)**してください。

※タッピンねじを**(仮締め)**せずに強く締めると、穴位置がずれ、全てのタッピンねじを正しく取り付けられなくなることがあります。

※対角線の順に少しずつ締めることでバランスよく固定できます。

(3)穴位置が問題ないことを確認したら、**(仮締め)**した全てのタッピンねじを**(本締め)**してください。(8カ所)

タッピンねじは、穴にねじ溝を作りながら締めるねじです。ドライバー先端とタッピンねじの④部分が合うドライバーで取り付けてください。(ドライバー先端推奨サイズ#2) 締め付けすぎると穴が広がり、ねじが空回りしますので、締め付けすぎにご注意ください。

2

キャップ

押し込む

ホースリールを起こし、使用しなかった穴部分にキャップをしっかり押し込んでください。(4カ所)
※脱落防止のため、キャップはややきつめに設計されています。最後までしっかりと押し込んでください。

完成図

✕ホースリールで持ち上げる

○重りごと両手で持ち上げる

アジャスター

地面に置いた際、ガタついている場合はアジャスターで高さを調整してください。

設置場所を移動する際は、必ず重りごと両手で持ち上げて移動させてください。

・G-Auto シリーズの組付け方

・メンテナンス方法について

は裏面へ

G-Auto シリーズの組付け

使用する 部 品



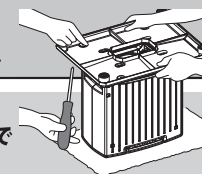
ねじ × 4



ナット × 4

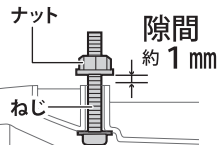


蝶ナット × 4

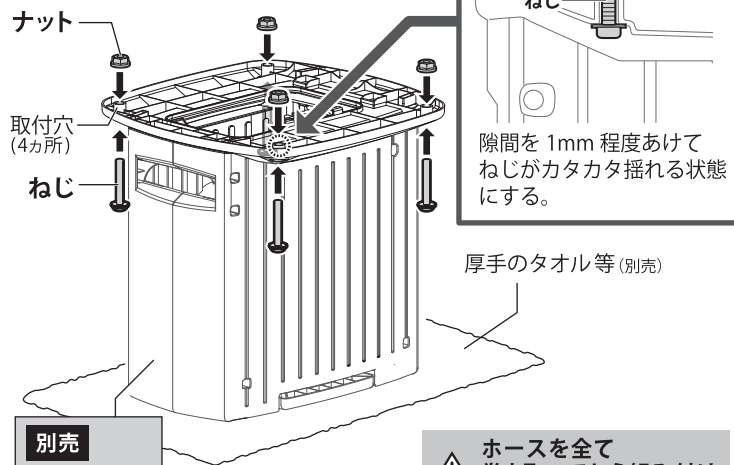


1

断面図



隙間
約 1 mm



隙間を 1mm 程度あけて
ねじがカタカタ揺れる状態
にする。

厚手のタオル等 (別売)

別売

ホースリール
(G-Auto
シリーズ)

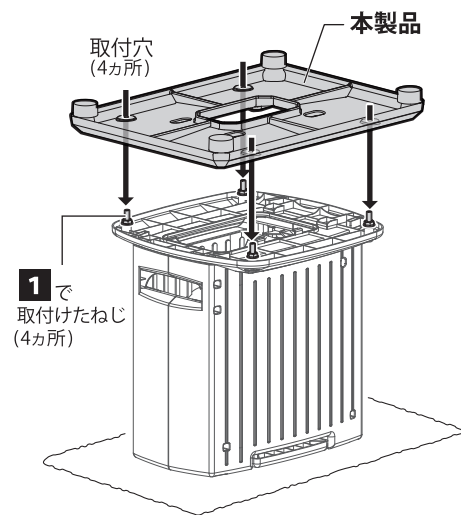
⚠ ホースを全て
巻き取ってから組み付け
を行ってください。

- (1) ホースリールが傷付かないよう、厚手のタオル等を下に敷いてからホースリール底面を上に向けてください。
- (2) ホースリール底面の四隅の取付穴に、図のようにねじがカタカタと揺れる状態になるように隙間を約 1 mm 程度あけて(仮締め)してください。

2

注意

- ⚠ 必ず2人以上で作業を行ってください。
- ⚠ 本製品は重量のある製品です。落とさないように十分ご注意ください。

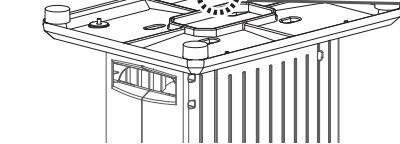


1
で
取付けたねじ
(4カ所)

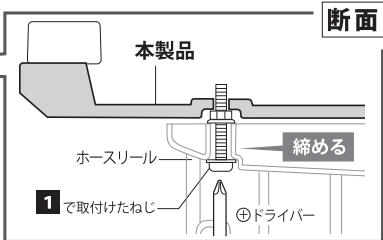
- (1) 1 で取付けたねじに、本製品の取付穴を合わせて通してください。

1

取付けたねじ
(4カ所)

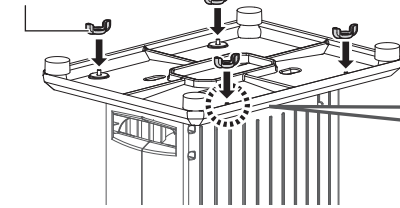


断面図

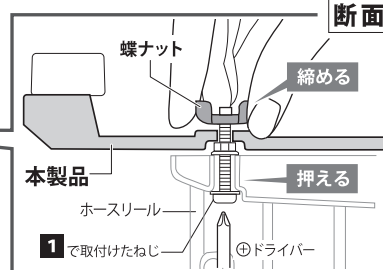


本製品
ホースリール
締める
1 で取付けたねじ
⊕ドライバー

蝶ナット



断面図

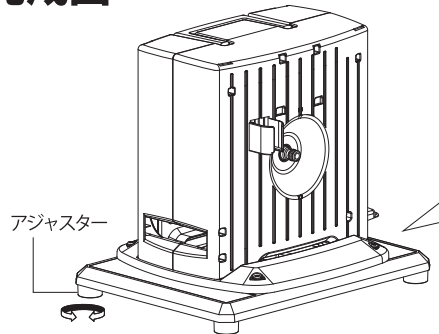


蝶ナット
本製品
ホースリール
締める
押える
1 で取付けたねじ
⊕ドライバー

- (2) 1 で取付けたねじを、⊕ドライバーで(本締め)してください。(4カ所)
- (3) 1 で取付けたねじに蝶ナットをしっかりと締め付けます。1 で取付けたねじをドライバーでしっかりと押えた状態で、ゆるみがないよう締め付けてください。(4カ所)

ドライバー先端とねじの⊕部分が合うドライバーで取り付けてください。(ドライバー先端推奨サイズ#2)

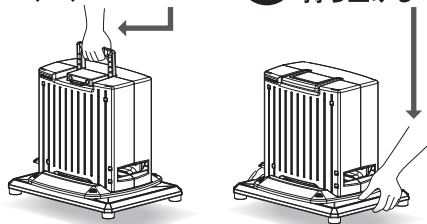
完成図



アジャスター

✕ 取っ手で
持ち上げる

○ 重りごと両手で
持ち上げる



地面に置いた際、ガタついている場合はアジャスターで高さを調整してください。

設置場所を移動する際は、必ず重りごと両手で持ち上げて移動させてください。

メンテナンス方法について

少なくとも月 1 回は本製品の点検をおすすめします。塗装の剥がれやさびが出ていないか、ねじが緩んでいないかを確認してください。さびが小さいうちにメンテナンスを行うことにより本製品をより長くご使用いただけます。

①表面の清掃

乾いた布やブラシで土・ホコリ・泥を落としてください。油污れがある場合は中性洗剤を水で薄めて洗い、十分に乾燥させてください。

②さびの除去

サンドペーパー (＃120 ～ 240 程度) やワイヤーブラシでさびをしっかりと削り落としてください。深いさびはできるだけ根元まで除去してください。削った後は粉じんをきれいに拭き取ってください。

③補修塗装

屋外鉄部用のエポキシ系、ウレタン系またはシリコンアクリル系塗料 (近似色：つや消し黒) を、塗料の使用方法に従って塗ってください。ホームセンターなどで販売されている「屋外鉄部用」「さび止め効果のある塗料」が適しています。
※ラッカー系や水性アクリル系の塗料は、剥がれやすいため使用しないでください。

■注意

- ⚠ さびを落とさずにそのまま塗装すると、下から再びさびが広がるおそれがあります。
- ⚠ 強酸、強アルカリ系の洗剤やさび取り剤は、塗装や鋳物を傷めることがあるので使用しないでください。